



1. Ko1, 2 研修旅行



1、2 年生は、11 月 1 日から 5 日まで、1 年担任山下、2 年担任初田（団長）、女子寮監長中本 3 名の引率のもと、イギリス南東部にある Brighton への研修旅行を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、両学年にとって、これが初の、宿泊を伴う研修旅行となりました。すばらしい天候にも恵まれた 5 日間でした。

午前中は毎日、ELC Brighton で語学研修を受けました。はじめこそ苦手な英語への抵抗感や、日本語がまったく通用しない中での緊張もありましたが、周辺の現地情報などにも触れた授業は、その日の午後すぐに使える表現も学ぶことができ、自分の英語が実際に通じた喜びが、次の学びへのエネルギーになっていたようです。

昼食は、オフシーズンだからか、あるいは 6 人以上で動いていたからか、はたまたコロナの影響か、料理が届くまでの時間に難儀しましたが、思い思いのイギリスの街角で、仲間とテーブルを囲んで食事を楽しむ貴重な機会となりました。

午後は、周辺施設で見学や体験を行いました。i360 で Brighton を一望した私たちをその後案内してくれた Ric によれば、漁村で始まり、健康や余暇の色合いを徐々に強めながら観光業で栄えたこの町は、近年は若さや自由が新たに加わり、スウェディッシュ・ポップの ABBA やコスメブランドの The Body Shop が生まれた文化の町としても知られる、重層的な歴史を持った地域であるとのことでした。2 日目以降は、ゴシック建築で作られた世界最古の水族館 Sea Life やジョージ 4 世を象徴する Royal Pavilion をはじめ、10 月 30 日からオープンしたばかりの Pavilion に隣接するアイススケート、英仏戦争でも生き残った The Lanes、覗きながら歩いているだけでも楽しい North Laine などの観光地をめぐる。また、同時期に Glasgow で開催されていた COP26 にも通じる、持続可能な世界を目指す実践が行われている、オフグリッド建物である Earthship や、グローバルサウスへの支援を約 20 年続けている Fair Trade 店への見学にも訪れました。現場で奮闘している Polly や Barbara から直接説明を受け、英語で質問をする生徒や商品を購入する生徒も多く、今後の彼女ららのアクションにつながればと願っております。

夜は、ホテルや近くのレストランで、Fish and chips や初めての人も多かったであろう Vegan Pizzaなどを夕食で堪能し、Bowling や生徒会が企画進行してくれた Game night で盛り上がりました。ただ一番の思い出が、仲の良い友達とホテルの部屋で寝るまでおしゃべりしていたことという生徒も少なくないかもしれません。(初田)



2. Ko3 研修旅行



3年生は Cornwall、Bath、Bristol に行きました。

1 日目は世界遺産の Stonehenge を訪れ、平原にある環状列石を観ました。その後ホテルに到着。夜はパブでステーキを食べました。2 日目は EDEN PROJECT を訪れ、ランチ後は Fistril Beach での海岸清掃を行い、Newquay 散策。夜はボウリングで盛り上がりました。3 日目はフランスの Mont-Saint-Michel を彷彿とさせる St. Michael's Mount を訪れ、徒歩で島に渡りました。悪天候でしたが、城の中を観た後晴れ間が見え、綺麗な虹を見ることができました。その後、海岸沿いの St.Ives を散策しました。4 日目は Bath に移動し、Roman Bath、Royal Crescent、The circus、Pulteney Bridge をまとめて観ました。街自体が世界遺産という素敵な場所でした。5 日目は Bristol に移動し、Clifton Suspension Bridge と展望台を観た後、Banksy Art Tour をして、街でランチを食べて帰路につきました。



生徒たちは各見学場所でじっくりと見たり、説明を読んだりしていました。covid-19 対策の意識を高く持ちながら、楽しく学びのある旅行となったと思います。久しぶりに学園外で過ごす機会を得ることができ充実した時間となりました。(宇佐美)

3. Speech Contest



On November 11th, the 4th annual Speech Contest was held at Teikyo School. This year we had participants from Eton College, Harrow School for Boys, St Bernard's Catholic Grammar School and St Helen's School. As usual, Teikyo students presented in English while students from other schools presented in Japanese. All presenters did an excellent job and showed a great level of skills and confidence to stand in front of others and use a second language. The topics in the beginner group ranged from the TV show "Friends" to comparing Sri Lankan food to Japanese food. The advanced level presentations were all based around the topic environment to coincide with the COP26 meeting in Glasgow and there were some excellent ideas about the issues related to climate change.



The event proved a great chance for all the students to not only practice their presentation skills but also to make friends and chat with someone their own age. It will be great to see some of the people in the audience perhaps trying to give a presentation of their own in 2022.

(Richard)

4. 情報リテラシー研修



11月15日月曜日のLHRでは、生徒指導部と情報課の共催で、帝京中学校高等学校情報管理主任の三輪清隆先生をオンライン講師に迎えて、SNSの正しい使い方をテーマに様々な事例について学びました。近年、SNSの変化には目覚ましいものがあり、仮想空間内でのコミュニティにまで発展しようとしています。このような背景の下、我々にはさらに高い情報リテラシーが求められており、変容の速度が速いネット空間におけるマナーや常識を確認する機会は、今まで以上に重要となっています。

学園としても、正しい情報リテラシーをお子様に身に付けてもらうために、今後もこのような研修の機会を提供してまいります。ご家庭におかれましても、インターネット、特にゲームやSNSの利用についての家庭内でのルールの再確認、また、今回の研修内容についてなど、お子様とお話しいただければ幸いです。（山下）

5. 「Climate Action Project School of Excellent」賞 受賞



現在、理科の授業の一つである「科学と人間生活」の中で取り組んでいる取り組みが、Climate Action Project 2021 という世界的なプロジェクトにおいて「Climate Action Project School of Excellent」賞を受賞しました。このプロジェクトは、世界中の4～16歳までの子供たちが6週間にわたって気候変動を食い止めるために活動するもので、WWFや国連、NASAなどの団体や各国の首相、教育マネージャーから協賛されています。今年度本校からは、1年生6名、2年生1名が参加しています。

メンバーは現在も気候変動を食い止めるためのプロジェクトを各自で進めており、それぞれのプロジェクトアイデアや他校との交流、気候変動に関する学習の様子などが評価された結果、この度の受賞につながりました。

今年度は英国からは3校、**日本からはロンドン学園1校のみの受賞!**となりました。11月4日に行われたオンラインイベント Climate Action Day では、受賞した団体がカートゥーンネットワークの声優によって発表され、ウィリアム王子からの賞賛の言葉もいただきました。

本校ではこれまでも様々なSDGsや環境教育に関する取り組みが行われており、今後もそれは続けられていきます。生徒たちの活躍の場はご家庭にも広がっていくかもしれませんが、その時はぜひ一緒に楽しみながらご協力いただけると嬉しいです。（山下）



受賞校一覧



他校との交流のために
作成した紙芝居の一場面

6. いじめ防止週間



英国では11月15日から19日までを「Anti-Bulling Week」として、学校を含めたさまざまな場所で、いじめについて考える週になっています。

学園では1週間早い11月8日（月）に、全校生徒を対象にした「Anti-Bulling Work shop」を行いました。今年のテーマである「One kind Word」に合わせ、「コミュニケーションを円滑に図るには？」「自分に優しくできる？」「相手と意見が違う時の対処法は？」という内容等について、お互いに意見が出しやすいよう、各学年が教室から参加するオンライン形式にし、クラス内の小グループでの話し合いを盛り込みながら進めました。実施後のアンケートには、全員が参加できる内容だったという意見が多くありました。

11月15日（月）「Odd Socks Day」（左右違った靴下を履く）企画を立てています。多様性と寛容を考える機会になればと思います。（谷地館）



7. ラグビー体験会



10月22日（金）に15人制ラグビー女子日本代表で、英国プレミアリーグ・Exeter Chiefsで活躍する2選手にお越しいただきました。加藤幸子選手（21）は早稲田大学スポーツ科学部を休学し、昨シーズンより初めての日本人選手として英国リーグに挑戦し、今期はプロ契約を結び活躍しています。小林花奈子選手（22）は日本体育大学を卒業後、ラグビーを続けることをサポートしてくれる職場を自ら見つけ、会社のサポートを受けながら今シーズンより英国リーグに挑戦しています。

講演会では、お二人のこれまでの歩みや進路選択、日本と英国のラグビー選手のライフスタイルの違いや競技を続ける上で大切にしていることをお話していただきました。生徒たちの質問にひとつずつ丁寧に答えてくださり、とても充実した時間になりました。体験会では、手つなぎ鬼がディフェンスの練習になっていたりボール集めゲームが声掛けをする練習になっていたりと、生徒たちは気づかないうちにラグビーの戦略を学んでいました。体育の授業で行ってきたタグラグビーを日本代表選手にアドバイスを受けながら行い、生徒たちからは「今まで一番楽しかった」「前より強くなっている」という声が聞こえてきました。最後にお二人の遠距離スクリーンパスやタックルを間近で見せてもらい、とても興奮した午後になりました。

来年ニュージーランドで開催されるWorld Cupに向けて、海外の選手と戦える力をつけるため日本から4名の女子選手が海外リーグに挑戦しています。11月から始まった日本代表のヨーロッパ遠征にも2選手は招集されています。ぜひ、応援よろしくお願いします。（中本）

小林花奈子選手 加藤幸子選手 ラグビー女子日本代表

